



# 県内経済情勢 (令和6年1月判断)

令和6年2月1日

財務省関東財務局  
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しの動きに一服感がみられる	
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	
企業収益	5年度は増益見込みとなっている	5年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「上昇」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

物価上昇の影響がみられるなか、家電大型専門店販売額は前年を下回っているものの、百貨店及びスーパー販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。娯楽や飲食サービスなどは緩やかに回復しつつある。このように個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- クリスマスケーキやおせちなどの季節商品を中心に売上が伸びており、特に今シーズンは価格転嫁を行っても売上・客数が落ちないことから、消費者の物価上昇に対する抵抗感が薄らいできたと感じている。(百貨店・スーパー)
- 人流の回復や外出機会の増加により化粧品や医薬品の売上は引き続き好調。また、11月以降も制汗剤やフェイスシートなどの売れ行きが良かった反面、カイロといった冬物商品が伸び悩むなど、一部で暖冬の影響がみられている。(ドラッグストア)
- 半導体不足の緩和により、これまで滞っていたバックオーダー分の車両がメーカーから続々と届いているため、一部の車種を除き納車遅延は解消に向かうなど、販売状況は改善している。(自動車販売)
- 全国旅行支援を利用した団体客が多く売上が好調であった昨年度と比較すると今期はやや伸び悩んでいるが、コロナの影響がなくなり平常時に戻ってきているという認識であるため、業況としては悪くない。(娯楽)
- 人流回復後もディナータイムの客足が鈍いものの、ランチタイムの売上は堅調であり、ファミリー層の利用を中心に売上・客数は前年を上回っている。(飲食サービス)
- メニュー価格の改定を行った影響でレストラン利用が伸び悩んでいる面はあるが、インバウンド需要が好調であることや各種イベントの開催の影響により、客室稼働率は高めで推移していることから、業況自体は良い。(宿泊)

### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、食料品、金属製品などが減少しているものの、化学、鉄鋼などが増加しており、全体としては、持ち直しつつある。

- 10月の酒税改正に合わせて行った価格転嫁の影響によって需要が減少した結果、生産量は前年と比べ減少している。(食料品)
- 半導体不足解消による生産回復に伴い自動車関連向けの製品で動きがみられるほか、年明けから予定している定期修繕に備え製品在庫を積み増す必要があることから、生産量は増加している。(化学)
- 中国での不動産市況の低迷により建設関連の鋼材需要が弱含んでいるものの、国内の自動車業界がサプライチェーン混乱の影響緩和により回復基調にあることから、全体でみると生産は前年比で上向いている。(鉄鋼)

### ■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は低下し、新規求人数は減少している。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

- 従業員は増加しているが、工場勤務のパート社員については地方ほど集まりづらい傾向にある。そのため、時給を上げるだけでなくシフト時間を細分化するなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。(製造業)
- 慢性的な従業員不足に加え、年収の壁対策で労働時間を減らさざるを得ないパート従業員が続出しており、店舗の各部門において安定的なシフト運営とは程遠いものになっている。(小売業)
- 企業の人手不足感は継続しているものの、求人を出しても経費に見合う人材を確保できず、人件費や資材価格の上昇等、先行き不透明感もあり求人自体を控える動きがみられる。(行政機関)

### ■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 製造業では前年比増減率27.9%の増加見込み、非製造業では同7.7%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同9.5%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「5年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 製造業では前年比増減率4.3%の増益見込み、非製造業では同21.0%の増益見込みとなっており、全規模では同19.0%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『上昇』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 先行きについては、6年1~3月期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家、貸家は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

### ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

# 県内経済情勢 (令和6年1月判断)

## (資料)

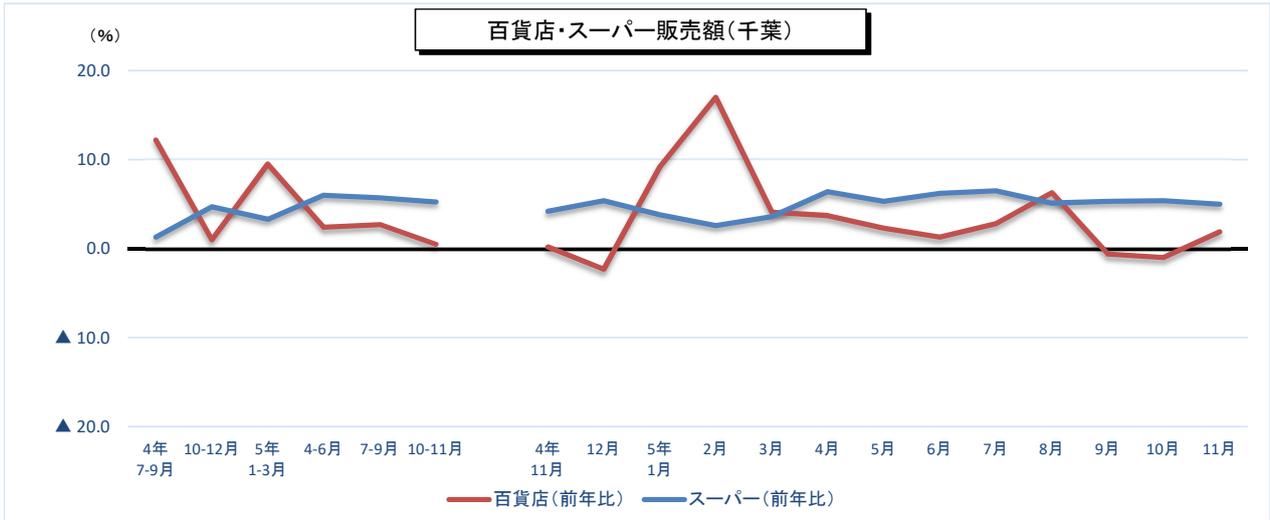
目次	(頁)
1. 個人消費	1
2. 生産活動	2
3. 雇用情勢	3
4. 設備投資	4
5. 企業収益	4
6. 企業の景況感	4
7. 住宅建設	5
8. 公共事業	5

令和6年2月1日

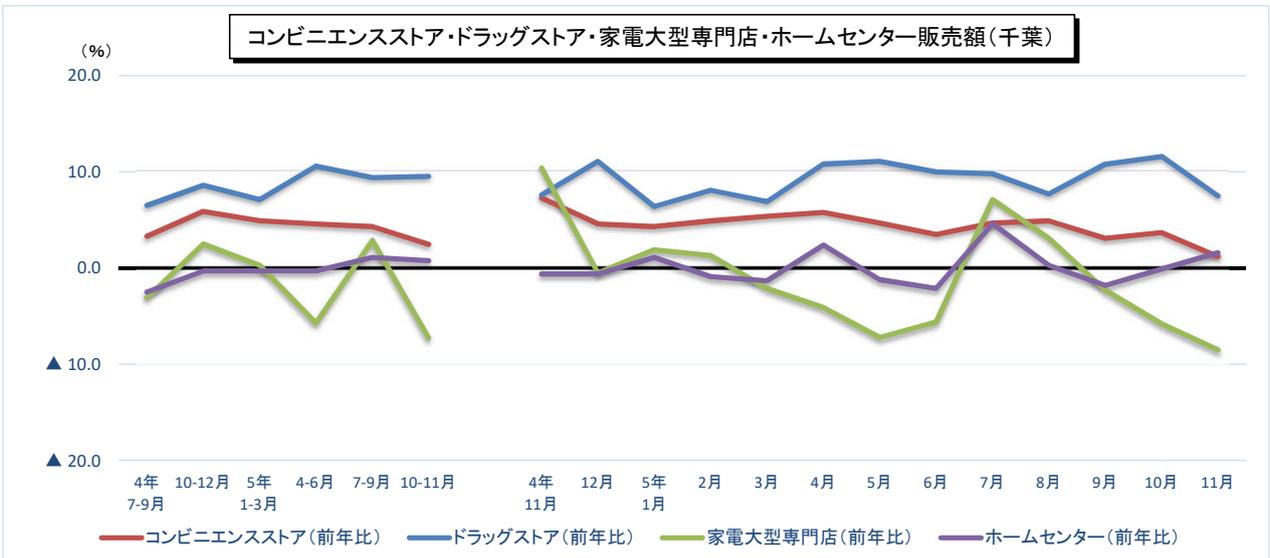
財務省関東財務局  
千葉財務事務所

1. 個人消費

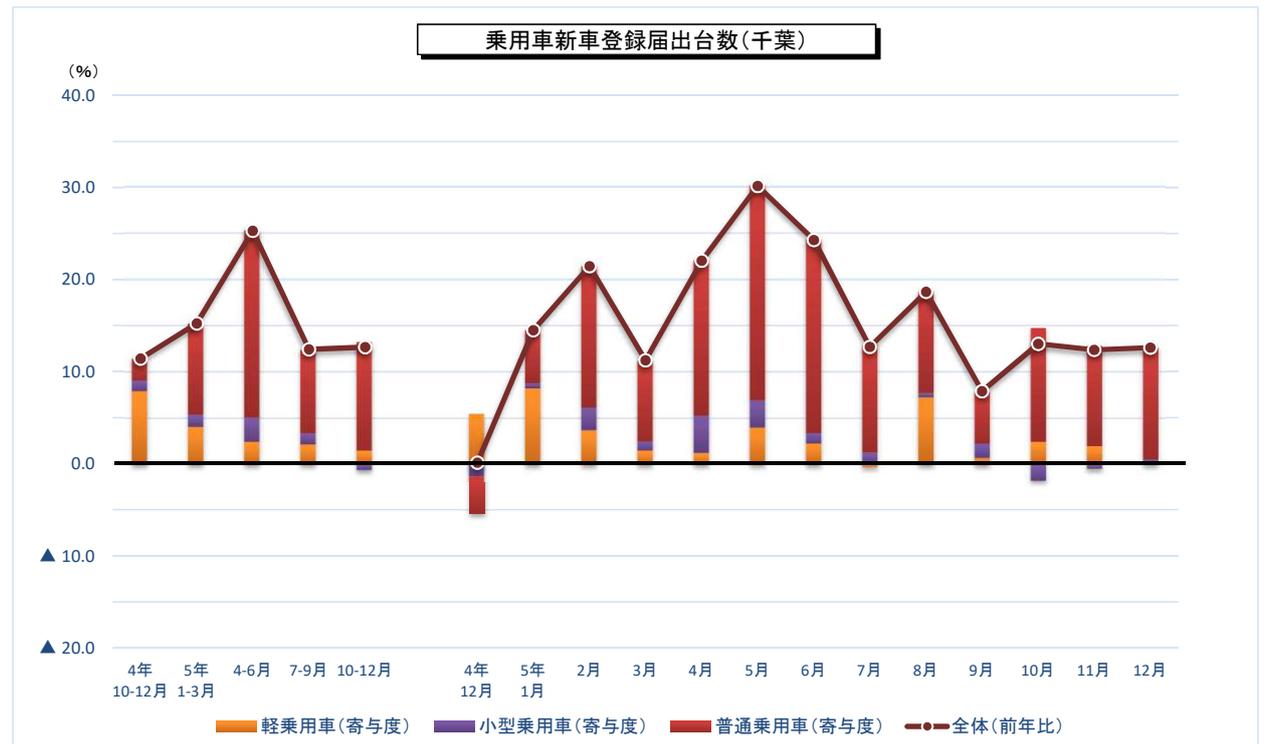
緩やかに回復しつつある



[経済産業省]



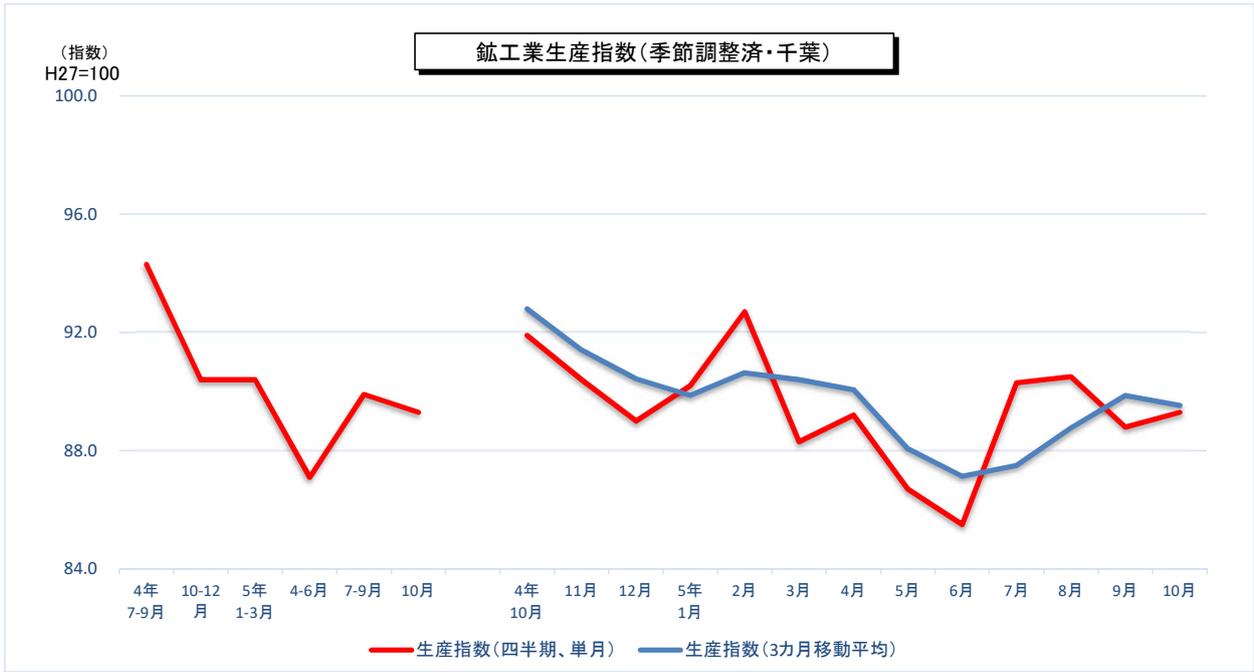
[経済産業省]



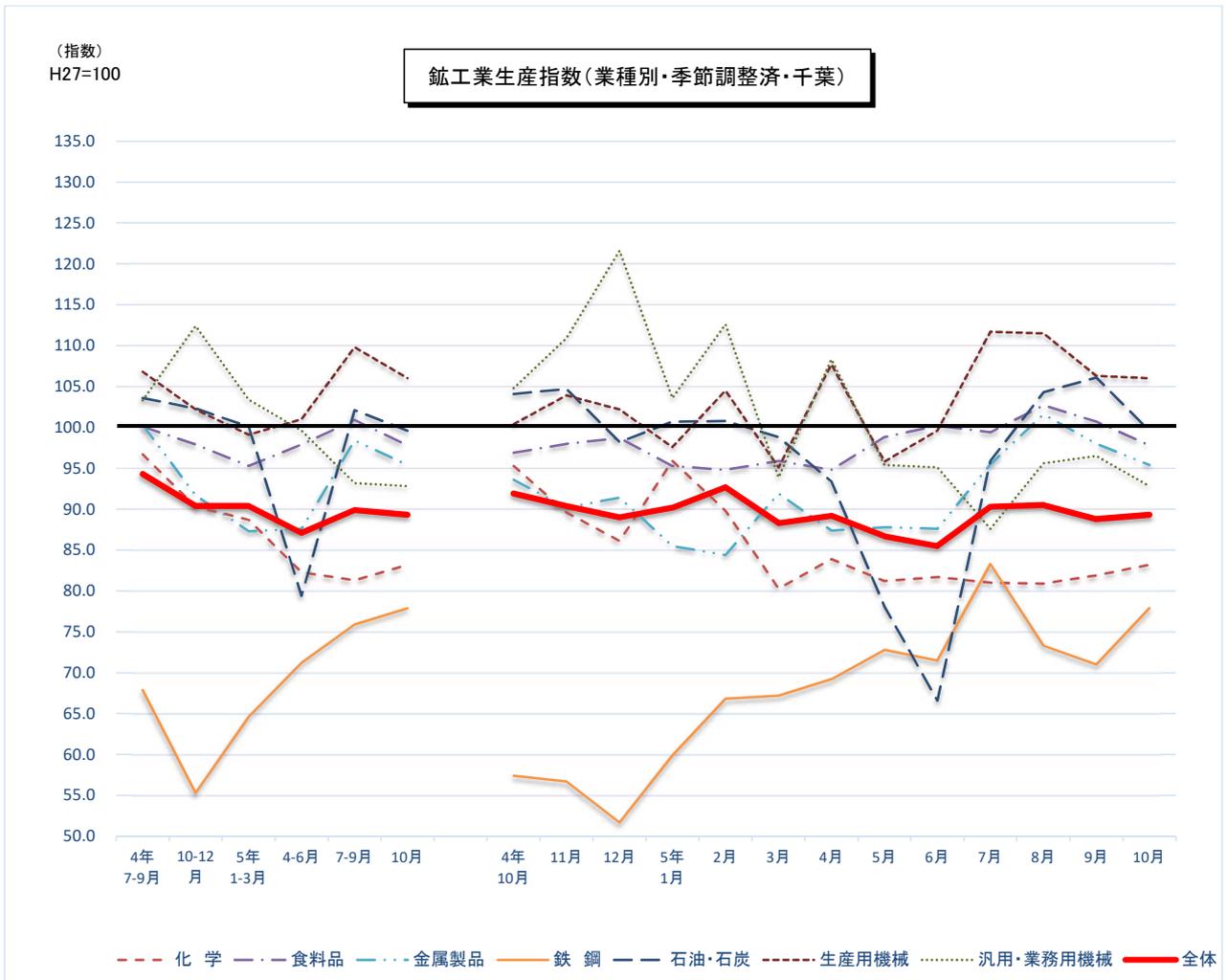
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

持ち直しつつある



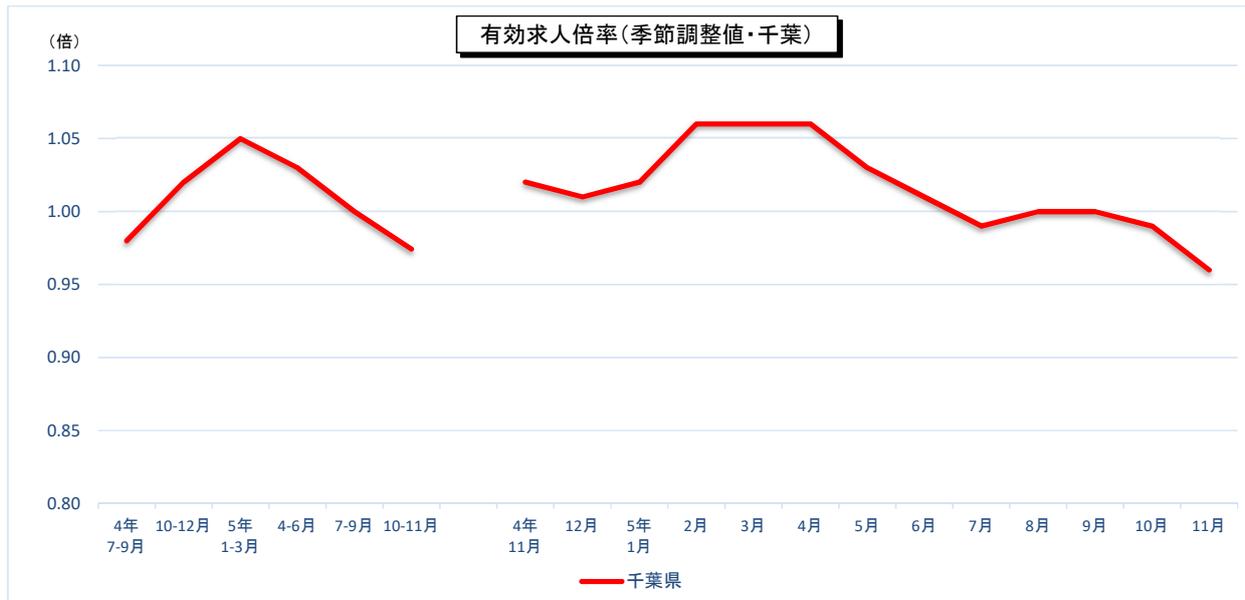
[千葉県]



[千葉県]

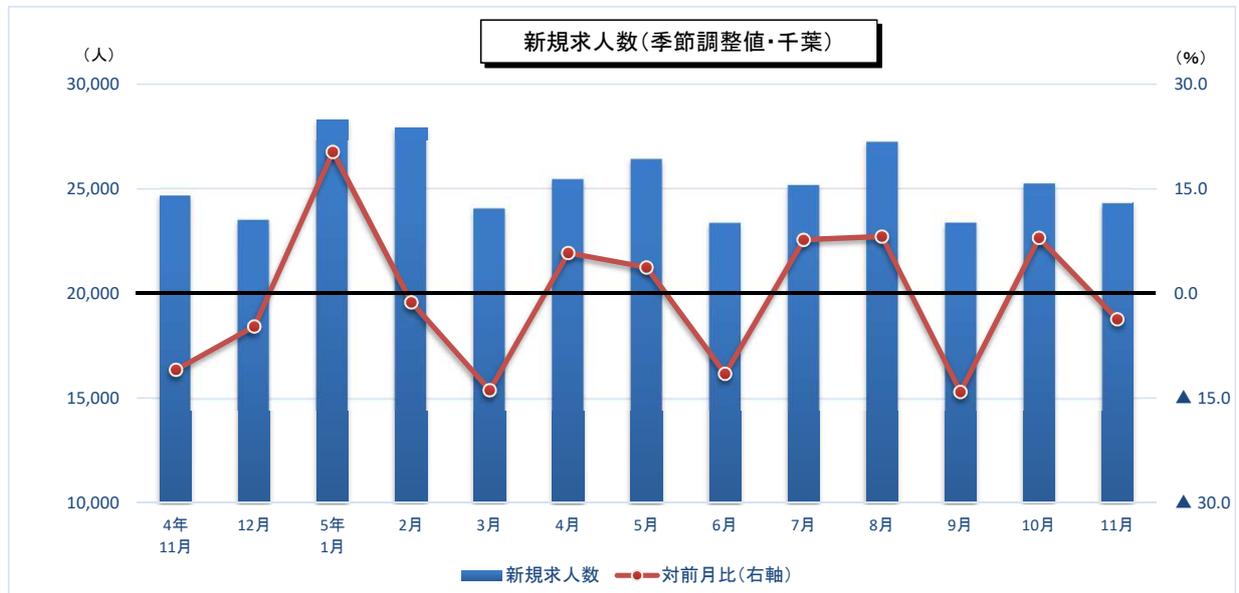
### 3. 雇用情勢

持ち直しの動きに一服感がみられる

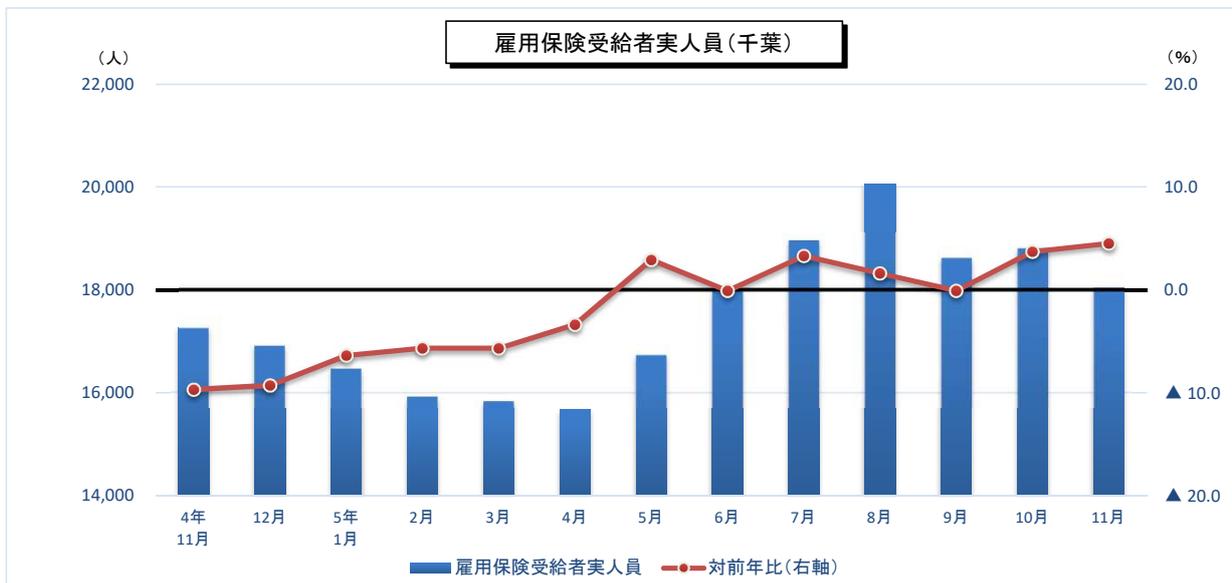


(注)四半期は期中平均である。

[千葉労働局]



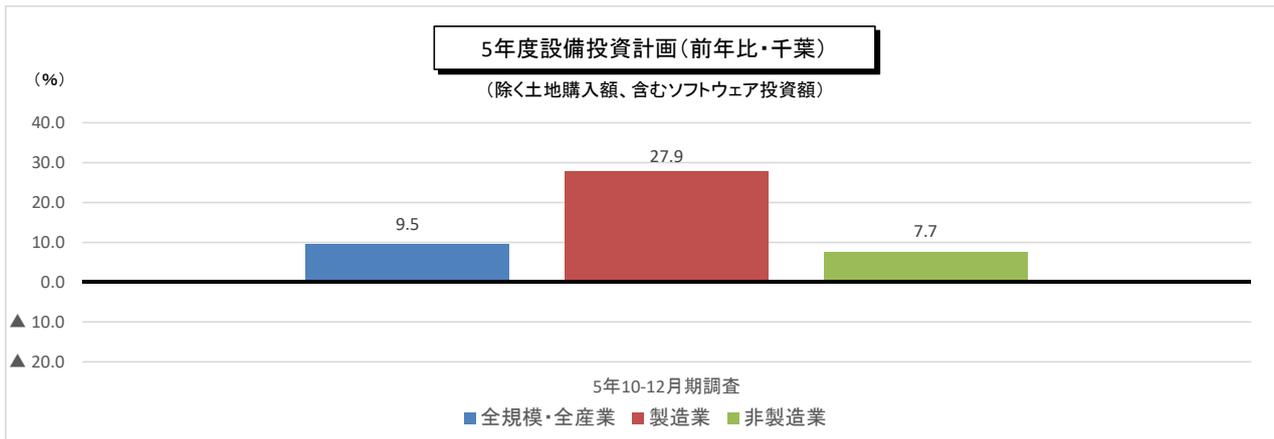
[千葉労働局]



[千葉労働局]

#### 4. 設備投資

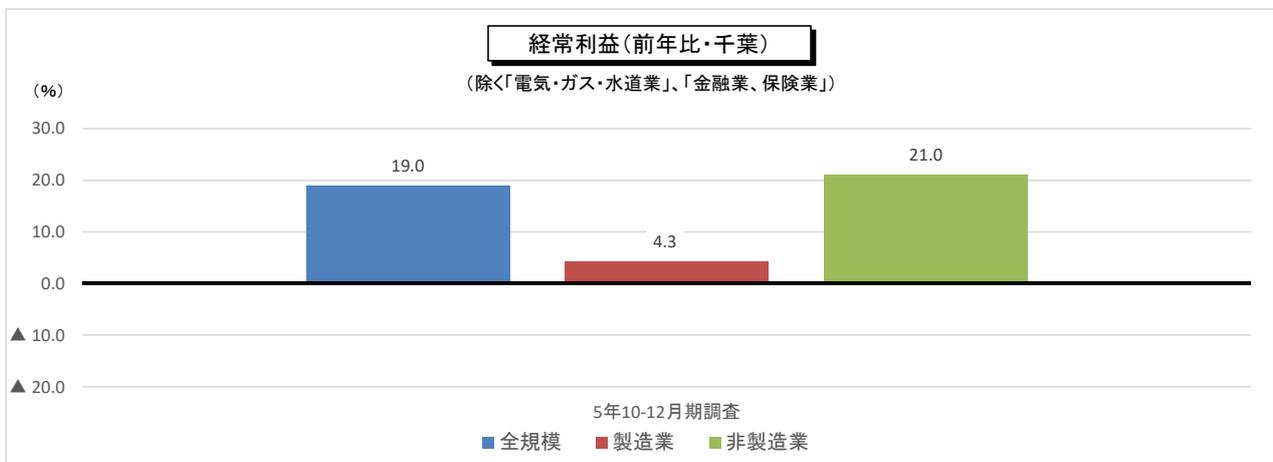
5年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 5. 企業収益

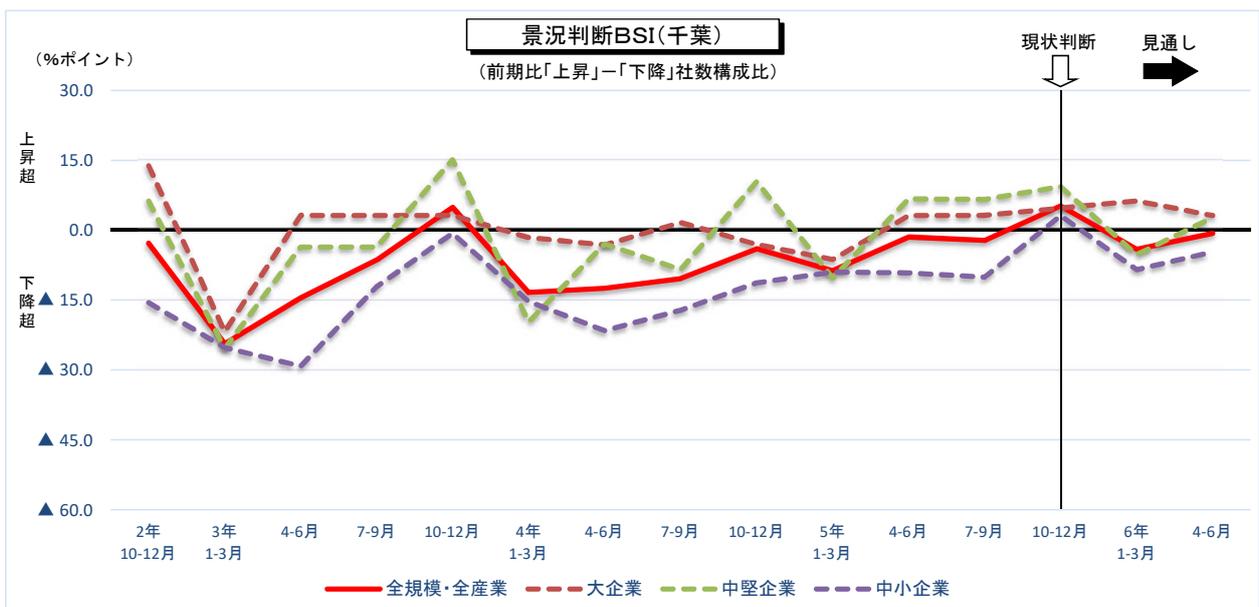
5年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 6. 企業の景況感

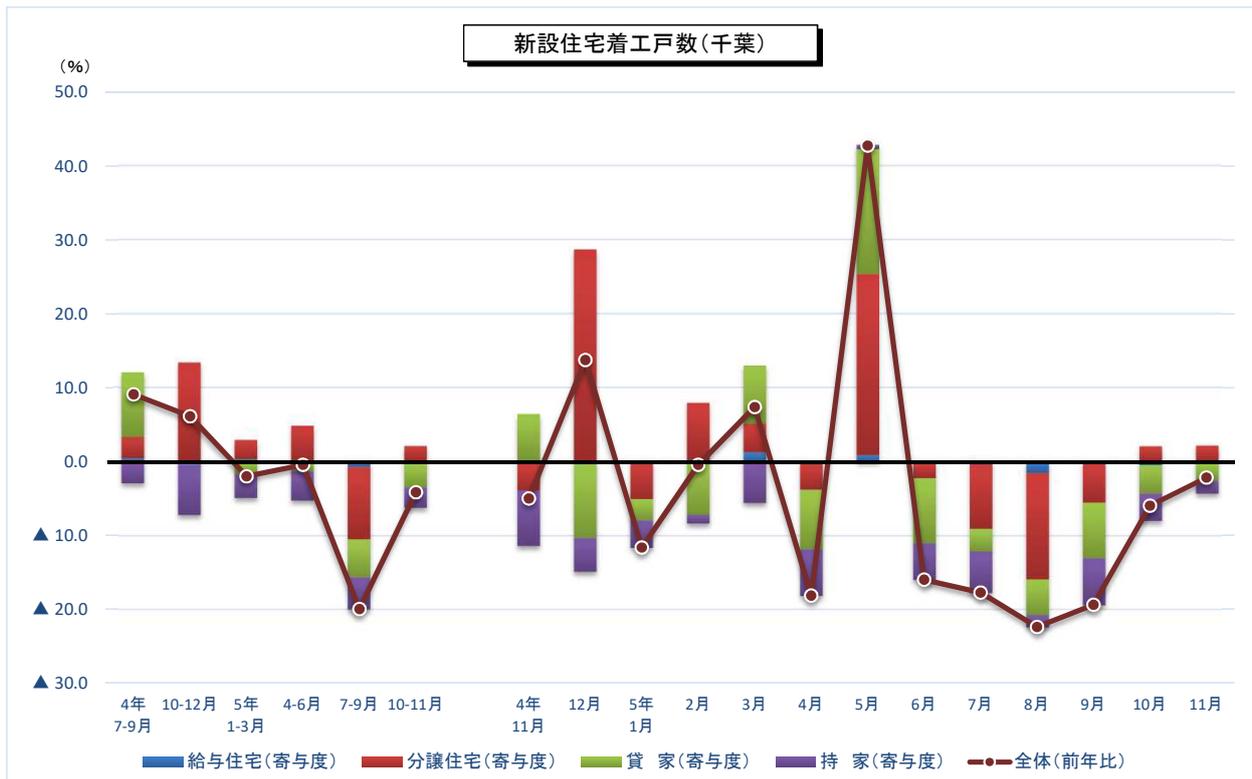
「上昇」超となっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

## 7. 住宅建設

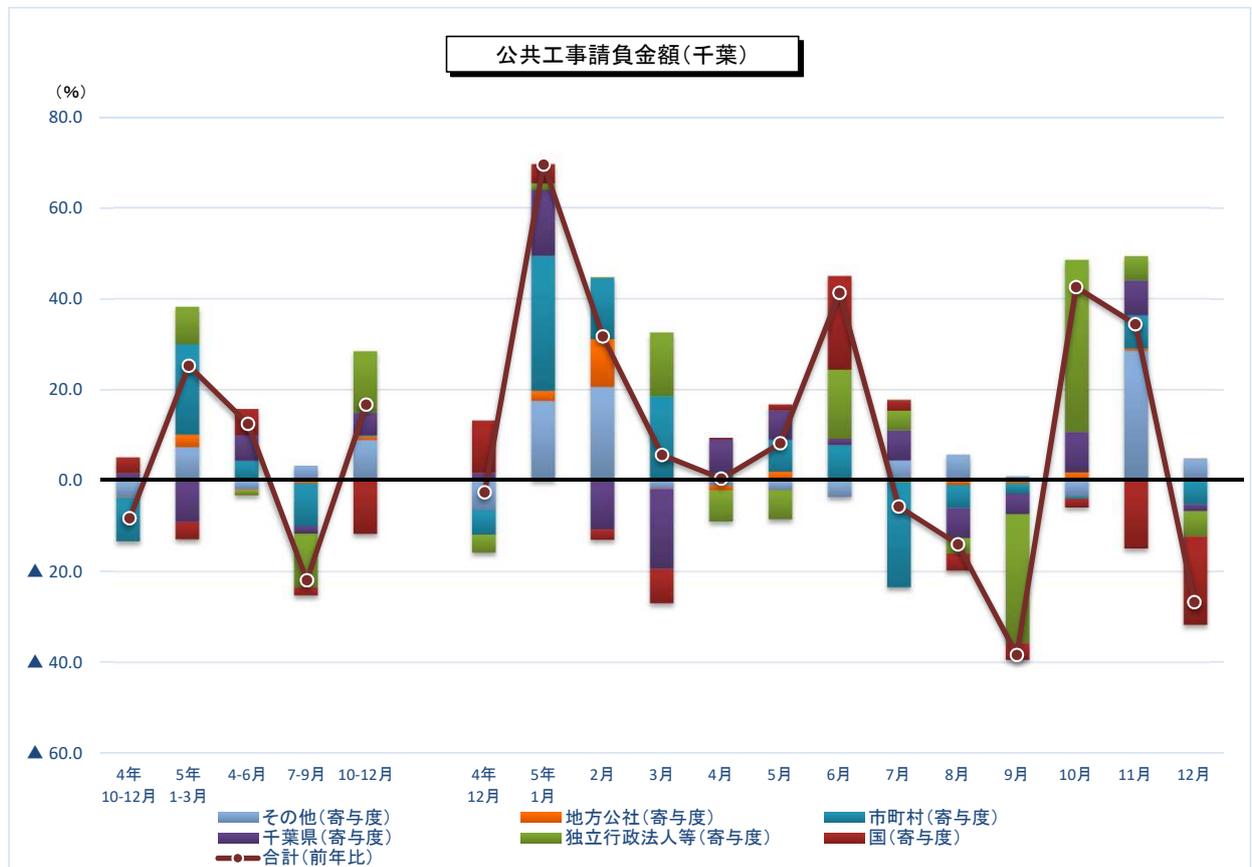
前年を下回っている



[国土交通省]

## 8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社他]